

6 月 13 日(土)AM6:00、12 名が 3 台の車に乗り合わせて松本を出発。曇天だが、まずまずの天気。一路、中央高速を走り、須玉インターで下車し、小一時間山道を走ると、瑞牆山荘登山口に到着する。整備された大駐車場に停車し、準備を整え AM8:30 出発。森林帯の登山道を登り、1 時間で富士見平小屋に到着。気さくな支配人に、今夜宿泊の確認をして、炊事具などをデポし、多少軽荷で金峰山目指して AM9:30 出発する。

暗い森林帯を登る



シヤクナゲ林を登る

うっそうと暗い森林帯を抜け、大日小屋付近から、薄紅色のシヤクナゲ林に出会う。大日岩までの急坂は、今を盛りのシヤクナゲ花に彩られている。一枚岩の大きな大日岩を過ぎて、岩石帯の急登路を 1 時間程登り、森林限界に抜け出ると、前方の緩やかな稜線の彼方に、山頂に憩う人々の姿が見える。

振返ると、標高 2230m の瑞牆山の奇岩峰が眼下に望まれ、登ってきた高度を実感する。岩石群の悪路を登り PM1:55、全員登頂する。「バンザイ!」。20 分ほど休憩して、長い往路を引き返し、シヤクナゲ林を下り、PM5:00 富士見平小屋に到着、泊す。水を汲み、湯を沸かし、皆で屋外で夕食を摂る。暗くなるまで屋外で駄弁り、PM8:00 就寝する。

瑞牆山を眼下に稜線を行く



金峰山山頂に登頂

6 月 14 日(日)AM5:00 起床。曇天、薄日が射す天候。室内で早速湯を沸かし、皆で朝食を摂る。準備を整え、全員ウォーミングアップして AM6:40 出発する。歩き出すと木々の間から、朝陽を浴びた瑞牆山の大きな岩峰がそそり立って見える。森林帯の中、一旦下降し、一休みの後、沢筋の悪路をひたすら登る。薄紅色のシヤクナゲが沢筋を覆い、花のトンネルを抜けて登るようだ。

大きな岩の間を抜け、一步、一步急坂を登る。岩場に架けられたロープを頼りに、体を迫り上げて、シヤクナゲ林を抜けると、AM8:45 瑞牆山頂に登頂する。「おめでとう!」登って来た反対側は、数百mの大絶壁となっていて、眼下を覗くと身が震えるようだ。

大岩の間の急坂を登る



天上の頂に憩う

天上のような頂に、30 分程憩い、下山を開始。往路と同じ道を下降する。AM11:00、富士見平小屋到着。荷をまとめて、支配人に別れを惜しみながら、下山。PM12:15 登山口。そこから車に乗り帰路の途中、増富ラジウム温泉で一汗流し、一息の昼食を味わう。「ごくろうさん!」PM2:00 出発。須玉インターから高速を走り、PM3:30 松本へ到着、解散とした。



金峰山は、今を盛りのシャクナゲ花に彩られている。



気さくな支配人と素泊を楽しんだ富士見平小屋